

Harmony

NO.229

2022.7 月号



関西ハ一毛二力連盟会報

関西ハーモニカ連盟 組織 2022年5月15日現在

常 任 理 事	理事長	吹上 晴彦	〒602-8488 京都市上京区真倉町757-107 電話 (FAX) 075-411-1531、090-8482-4806	19人
	副理事長 (兼)事務局長	源馬 英人	〒520-2101 大津市青山8-6-14 電話 (FAX) 077-549-3329	
		(事務局次長)	角野まゆみ	
	副理事長 (兼)事業部長	梁木 進	〒599-8116 堺市東区野尻町192-20 電話 072-284-8808、FAX 072-286-4890	
		(コンテスト委員長)	梁木 進 中崎利枝子 (兼)、松本孝司	
		(ハモ祭り委員長)	鐘ヶ江義行 富久鉄男、西本豪介 (兼)、松本千佳子 (兼)	
		(活性化促進委員長)	小川未佐子 新井尚子 (兼)、住田陽子 (兼)	
			(補佐理事：小野浩子、雑賀健)	
	編集局長	もり・けん	〒594-0041 和泉市いぶき野4-1-4-209 電話 (FAX) 0725-57-7235	
		(編集局次長)	岩本洋之 鐘ヶ江義行 (兼)、筒井茂義、中崎利枝子 (補佐理事：北村サユリ、竹内寿子、西尾好美)	
事	研修部長	小林 由美子	〒662-0046 西宮市千歳町7-42 電話 (FAX) 0798-22-1844 新井尚子、住田陽子、西本豪介 (補佐理事：小林希久子、永野富康)	42人
	組織部長	丸山 茂生	〒666-0122 川西市東多田3-4-1-703 電話(FAX) 072-793-7164	
		(組織部次長)	松本千佳子	
	会計部長	木ノ山 洋子	〒617-0006 向日市上植野町南小路26 電話 (FAX) 075-921-6588 角野まゆみ (兼)	
理 事 (50音順)	青木鈴子、稲垣裕子、井上孝子、内田常雄、岡本修子、小河由美 小野浩子、金丸寿夫、加納克芳、喜多創平、北村サユリ、木原淳 黒谷マス子、源馬恵子、小林希久子、小林美津子、雑賀健、佐藤長 柴田正之、園真佳、高阪他美子、高山美千代、田口史郎、田口幸輝 竹内寿子、谷口昌子、中谷晃、永野富康、新山ミツ子、西尾好美 新田真理、服部恵美子、羽田勝彦、羽原伸示、林和子、福島隆志 藤野つるみ、保理江元子、松岡郁子、松本忠義、渡辺晃志、和谷篤樹			
会計監査	柴田正之			1人
常任顧問 (50音順)	梅田恒弘、後藤貞男、寺村安雄、仲村眞、村上博昭、吉村則次			6人
顧 問 (50音順)	(該当者なし)			
特別顧問 (50音順)	斉藤壽孝、十河陽一、徳永延生、水野隆元、和谷泰扶			5人

関西ハーモニカ連盟 ホームページ <http://ks-hamoni.sakura.ne.jp/>

入会のご案内 組織部長

入会金：1000 円 (団体は 1 団体 1 律 1000 円)

年会費 (1 月から 12 月)：

個人会員 5000 円、地域外個人会員 5000 円、準会員 (30 歳未満の方) 1000 円

団体会員 (5 名以上の団体で 1 名につき) 1000 円、賛助会員 10000 円

郵便振替口座：00950-6-115527、加入者名：関西ハーモニカ連盟、通信欄に「入会申し込み」と記入してください。

◎入会申込書は必ず組織部へお送り下さい。

ハーモニカが好きな方なら、
吹く方、吹かない方、上手な
方、下手な方、上手になりたい
方、ニュースだけほしい方
等、どなたでも入会できます。



目次

関西ハーマニカ連盟会報 Harmony 第229号

(2022年7月号)

発行部数 400 毎年1、4、7、10月に発行 (送付はそれぞれ前月中下旬)

関西ハーマニカ連盟会員の活躍が満開	源馬英人	2
事務局便り 常任理事会実施報告	角野まゆみ	4
第32回 関西ハーマニカ祭り 応募要項	事業部長	5
2022年度 研修会のご案内	研修部長	6
音の多彩さ、美しさに感動 - 徳永延生 / 有生による連盟研修会	吉村則次	8
ハーマニカと私	木ノ山洋子	10
団体会員の皆様へ	編集局	11
ハーマニカカレンダー	編集局	12
梅田ハーマニカ教室第13回演奏発表会報告	西河勝男	13
第23回 「ハモ二館まつり」への想い	吹上晴彦	14
日本ハーマニカ賞と長老栄誉賞を受賞して	柴田正之	16
日本ハーマニカ芸術協会「長老栄誉賞」を受賞して	新山ミツ子	18
ハーマニカ人生・傘寿と云う駅へ	高阪他美子	19
日本ハーマニカ芸術協会 2022年度グレード便り	事務局長	20
斎藤壽孝さんお元気	吉村則次	24
コロナ旋風下 喫茶店でハーマニカ演奏	寺村安雄	25
バスクロマチックが難しい理由とハマる理由	北村サユリ	26
れんめいひろば	編集局	28
会員異動のお知らせ／編集後記	組織部長	29

関西ハーモニカ連盟会員の活躍が満開

事務局長 源馬英人

2年以上に亘る自粛期間を経て、ようやくハーモニカ関連の組織的活動が始まりました。4月24日、25日に東京において開催された全国組織のイベントにおいて、当連盟の会員の活躍がスポットライトを浴びましたので報告いたします。



全日本ハーモニカ連盟「ハーモニカ・フォーラム 2022」

2022年4月24日(日)、東京の「アートホテル日暮里ラングウッド 孔雀の間」において、全日本ハーモニカ連盟主催の「ハーモニカ・フォーラム 2022」が開催されました。コロナ禍による2年間の休会を挟み、3年ぶりの開催でした。感染防止に配慮し、賑やかな催しや交歓パーティは控えましたが、全国から多数の参加者が集い、久しぶりの再会を喜び合いました。フォーラムは前半がサミット・カンファレンス、後半がシンポジウムという形式で進行しました。

<サミット・カンファレンス>

式は、全国のハーモニカ愛好者との再会を喜ぶ眞野泰治会長の挨拶で幕を開け、第44回日本ハーモニカ賞授与式が行われました。議事では人事異動や本年度事業計画などが審議・決定されました。受賞および人事異動で、関西ハーモニカ連盟会員では以下の方々が対象となりました。

日本ハーモニカ賞：柴田正之さん

理 事：小川未佐子さん

新幹事：筒井茂義さん

松本孝司さん

「ハーモニカの日」が決まりました！！

今回のサミット・カンファレンスにおいて、ハーモニカ文化の全国的な振興を目指すという目的で、8月2日を「ハーモニカの日」と定め、様々な運動で盛り上げることが提唱され、可決されました。

<シンポジウム>

休憩を挟んだ後のシンポジウムは、「前理事長、斎藤壽孝氏の足跡と業績」と「ハーモニカを見直そう ～各種ハーモニカの違い～」という二部構成で展開し、最初のテーマではハーモニカ界に対する斎藤壽孝氏の多大なる貢献と業績について、眞野泰治会長が感謝と賞賛を込めて紹介されました。後半のテーマでは、町田明夫（クロマティック）、田邊峯光（複音）、平松悟（テンホールズ）という各分野を代表する三氏が、それぞれのハーモニカの特徴について実演を交えながら解説され、来聴者にはたいへん有意義な学びの場となりました。



日本ハーモニカ芸術協会 2022 年度研修会・総会の報告

2022年4月25日（月）、日本ハーモニカ芸術協会主催の全国研修会が東京の「アートホテル日暮里ラングウッド 孔雀の間」において、また総会と春のハーモニカまつり2022が「日暮里サニーホール」において開催されました。コロナ禍による2年間のブランクを経ての式典開催に、会場は大いに盛り上がりました。内容はそれぞれ以下のとおりです。

<全国研修会>

芸術協会の大師範である梅田恒弘さん（関西ハーモニカ連盟常任顧問）が講師として、「佐藤秀廊先生のハーモニカ理念」の表題のもとで、「上手く吹く」とは、「情緒的表現」とは、「音楽は語る」と云われるが、「日本的奏法」とは」という重要なサブ・テーマについて実演を交えながら講演をされ、聴衆の熱い共感を呼びました。

<総会>

総会では、決算・予算報告および役員人事異動などに続いて、グレード認定書・長老栄誉賞・佐藤秀廊賞などの授与式が行われました。関西ハーモニカ連盟会員では以下の方々が授与の対象となりました。

大師範：村上博昭さん（当連盟常任顧問）

師範：高山美千代さん（同理事）

竹内寿子さん（同理事）

準師範：中道忠志さん（同会員）

長老栄誉賞：柴田正之さん（同理事）

高阪他美子さん（同理事）

新山ミツ子さん（同理事）

なお上記に加え、連盟非会員ながら梅田恒弘さんの門下生、喜多啓子さんが準師範に認定されました。

<春のハーモニカまつり 2022>

休憩を挟み午後3時に、呼び物の春のハーモニカまつり2022が幕を開けました。今回は二部構成となり、第1部では複音ハーモニカ奏者の中西基紀さんが「さくらのワルツ」などの9曲を、また第2部ではデュオのBom × Boaさんが「Libertango」などの9曲をそれぞれ絶妙のテクニックで演奏され、聴衆の大喝采を浴びました。

常任理事会 実施報告

角野まゆみ

2022 年第 1 回常任理事会報告

日時 2022 年 1 月 19 日（水）～ 28 日（金）
場所 メール会議
議事 1. 議題
(1) 2022 年度総会について
(2) 2022 年度本連盟組織について
(3) 2022 年度事業計画について

2022 年第 4 回常任理事会報告

日時 2022 年 4 月 18 日（月）17 時より
場所 ふんふんさろん
議事 1. 報告 理事長および各部局
2. 議題
(1) 第 1 回ハーモニカ交流会
（役割分担詳細）について
(2) 第 32 回ハーモニカ祭りについて
(3) スプリングコンサートについて
(4) その他

2022 年第 2 回常任理事会報告

日時 2022 年 2 月 24 日（木）～ 27 日（日）
場所 メール会議
議事 1. 議題
ハーモニカ交流会（仮称）
チラシと講座一覧について

2022 年第 5 回常任理事会報告

日時 2022 年 5 月 23 日（月）17 時より
場所 ふんふんさろん
議事 1. 報告 理事長および各部局
2. 議題
(1) 第 1 回ハーモニカ交流会について（最終確認等）
(2) スプリングコンサートについて
(3) 連盟歌制作プロジェクトについて
(4) 『ハーモニー』会員投稿欄について
(5) その他

2022 年第 3 回常任理事会報告

日時 2022 年 3 月 14 日（月）17 時より
場所 ふんふんさろん
議事 1. 報告 理事長および各部局
2. 議題
(1) 2022 年度新組織確認、新役員挨拶
(2) 2022 年度総会の中間報告
(3) 2022 年度事業計画について
(4) 本連盟ホームページについて
(5) その他



第32回 関西ハーモニカ祭り

応募要項

日時：2022年 10月15日(土) 11:00開演 17:00終演(予定)

10月16日(日) 10:00開演 17:00終演(予定)

会場： 堺市民芸術文化ホール (フェニーチェ堺小ホール)

堺市堺区翁橋町2-1-1 TEL 072-228-0440

申込方法

★同封のソロ・アンサンブル出演申込書(アンサンブルの紹介文を含む)を、下記の送付先まで郵送して下さい

★土・日の開催ですので出演希望日を○印して下さい。土・日、両日のどちらでも良い場合は、どちらでもの方に○印をして下さい。なるべく希望に沿うように致します。土・日のどちらかに偏った申し込みが多い場合は、先着優先とさせていただきますので、その点ご理解願います

演奏時間

★ソロ・デュオは1曲5分以内、トリオ・アンサンブルは1組2曲又は8分以内。

申込期間

2022年7月1日(受付開始)～8月1日(受付締切) 厳守

※分担金の振込みの確認をもって、受付とします

分担金振込先

郵便振替口座 00910-3-217292

口座名 柴田 正之

※同封の振込み用紙に必要事項を漏れなくご記入の上、出演分担金をお振込み下さい

申込書送付先

鐘ヶ江義行宛 〒520-0528 大津市和邇高城426-36

★規定の申込書以外の文書や口頭による申し出や、FAX等での申し込みは受付出来ませんので、ご注意願います
演奏者・曲名・作曲者等は、必ず、フリガナをつけて下さい

種目・演奏条件・分担金

★ソロ	当連盟の個人会員又は準会員に限る	6,000円
★デュオ	身体障がい者、及び高校生以下は無料(当連盟の会員を問わない)	8,000円
★トリオ		9,000円
★アンサンブルA	(4～6名)	10,000円
★アンサンブルB	(7～10名)	12,000円
★アンサンブルC	(11～15名)	14,000円
★アンサンブルD	(16～25名)	15,000円

(指揮者も含め、アンサンブルの構成メンバーは個人会員、準会員また団体会員であること、なおピアノをご利用の方は3,000円負担があります。)

※マイクは10本まで用意します。バスハーモニカ等で内蔵マイクを使用される方には、標準ジャックでオス端子を準備します。伴奏にMD、CDを使用される方は、1ヶ月前の9月15日までに送付して下さい。
MD、CD送付先 〒520-0528 大津市和邇高城426-36 鐘ヶ江義行 宛

新型コロナウイルス感染防止対策のために、検温、手の消毒、マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保をお願いします。
観客席は隣空席。舞台は基準(舞台有効面積を1人1坪にして許容人数は25名。人数配置は、横8人で3列)を目安にご利用ください。

新型コロナウイルス拡散状況下での演奏会開催に危険性ありと判断した場合、主催者として行事を中止いたします。

2022 年度 研修会のご案内

研修部長

2022年度、第2回、第3回の研修会を下記の内容で実施いたしますので、奮ってご参加ください。第3回の研修会は、日にちが変更になりましたので、お間違えの無い様にお願いします。

第2回 会場：西宮市民会館1階会議室
西宮市六湛寺町10番11号
電話 0798-33-3111
阪神西宮駅市役所口改札北へ徒歩1分
JR 西宮駅南出口から西へ徒歩約10分

第3回 会場：みつなかホール文化サロン
川西市小花2丁目7番2号
電話072-740-1117
阪急川西能勢口駅東口より徒歩約5分
JR 川西池田駅より東へ徒歩約12分
研修時間：14:00～16:30（毎回）
参加費：会場にてお支払い下さい。
会員 1,500円、非会員 2,500円
人 数：60名（先着順、予約が必要です）
申込先：西本豪介 FAX 06-6785-7775

第2回

日 程 7月10日（日）

講 師 水野隆元（複音ハーモニカ奏者）

内 容 テーマ：「音のコントロール」

スタaccart、スラー、クレッシェンドなど、楽譜によく出てくる指示を、簡単なフレーズを使って実際に音に現す体験をします。

持参していただくハーモニカ C、Am

講師プロフィール

複音ハーモニカを岩崎重昭氏に師事

音楽全般を甲賀一宏氏に師事

F.I.H. JAPAN（1991）、アジア・太平洋（台湾・1996）、世界大会（ドイツ・1997）、全てのコンテストにおいて複音ハーモニカソロ部門、第一位

現在、作曲家と共に、複音ハーモニカのオリジナル曲を残すことを目的に活動

日本ハーモニカ芸術協会理事、師範、複音ハーモニカコンクール審査員、グレード審査員、関西ハーモニカ連盟特別顧問、全日本ハーモニカ連盟副理事長、F.I.H.JAPAN 審査員

第3回

日 程 11月27日（日）

講 師 寺澤ひろみ（複音ハーモニカ奏者）

内 容 テーマ：「自分らしい演奏」ってなんだろう？

少しハーモニカのテクニックを習得してくると人前で吹きたくなりますね。熟練すると、さらに上を目指す方も多いと思います。ほかの方と同じ曲を吹いても自分だけの「オリジナリティー」を出すにはどうしたらいいか？

佐藤秀郎ハーモニカ独奏曲集第二集より「さくらのワルツ」を題材に、自分らしい演奏とは何か、また、どうすれば自分らしさを出せるかを考えます。

持参していただくハーモニカ Am

講師プロフィール

複音ハーモニカ奏者だった父の影響で明治大学ハーモニカソサエティに入部。父の急逝をきっかけに独学で複音ハーモニカを習得する。2001年ドイツ・トロツシゲンでの「ワールドハーモニカフェスティバル2001」複音ハーモニカ独奏部門に初出場し優勝。これまで音楽のジャンルを問わずハーモニカの魅力を伝えるべく様々な楽器との共演を果たす。テレビ・ラジオにも多数出演し、映画・テレビドラマでのハーモニカ指導も務めている。日本ハーモニカ芸術協会 師範、全日本ハーモニカ連盟 常任理事。2018年より「F.I.H.Japan ハーモニカコンテスト」にて史上初の女性審査員を務める。

*定員を超えた場合は、参加をお断りしますので早めに申し込み願います。

*キャンセルされる場合は早目に連絡ください。当日のキャンセルについては、会費を頂戴しますのでご了承ください。

申込先 西本豪介 FAX 06-6785-7775

関西ハーモニカ連盟 研修会申込書（個人）

（会員番号）

（氏 名）

（連絡先電話）

（ ）

ご希望の回を選んでください。（複数回申し込み出来ます）

（第2回 第3回）研修会に参加する。

関西ハーモニカ連盟 研修会申込書（団体）

（会員番号）

（教室、サークル）

（代表者名）

（連絡先電話）

（ ）

ご希望の回を選んでください。（複数回申し込み出来ます）

（第2回 第3回）研修会に参加する。

（団体会員氏名欄）

参加者計 人

音の多彩さ、美しさに感動 - 徳永延生 / 有生による連盟研修会

吉村則次



2022年5月15日、クロマチック・ハーモニカをテーマにした研修会が開催された。講師は、徳永延生氏、当連盟特別顧問。

世界に多くのクロマチック・ハーモニカのジャズ奏者がおられますが、同氏がこの分野では世界トップのかたの一人であることには疑いがないと私は思っており、同氏を当連盟の特別顧問に迎えていることを誇りに思っていますが、今回講習を聞いて、同氏の素晴らしさを再認識することになりました。

同氏が、クロマチック・ハーモニカに魅せられたのは、森本恵夫（よしお）さんのカルメン・マキの「時には母のない子のように」の伴奏での、クロマチック・ハーモニカの腹式ビブラートの音だったそうです。まずクロマチック・ハーモニカを説明し、デモンストレーションをしながら、クロマチック・ハーモニカの、徳永サウンドと呼ばれる独特な奏法を説明されました。それは次のようなものでした。

- ビブラート奏法 ワウワウ
ワウワウ
- ベンド奏法 音を途中で、あるいは出だして、あるいは終わりに、幾分低くする奏法
- ビブラート 音程（高さ）の変化のビブラート 音量の変化のビブラート
- トレモロ奏法 複音ハーモニカにおけるマンドリン奏法
レロレロレロレロ
- サブトーン奏法 スッスッスッ
- フラッター奏法（巻き舌奏法）
ブルルルルル
- グロー奏法 「のど」からのゲーという低いうなり声をハーモニカに重ねて入れる
- オクターブ奏法、等

デモンストレーションとして演奏された曲は、次の通りであった。

「荒城の月」（複音ハーモニカも使用）、「パリは燃えているか」（加古隆作曲、NHK 映像の世紀テーマ曲）、「ハナミズキ」（録音された2nd Part を使ったデュエット）、「中国地方の子守唄」（スズキが製作しているバス・クロマチック・ハーモニカをデモ）、「エリーゼのために」、「スペイン」、「防人の詩」（さきもりのうた）さだまさし作曲、「ひまわり」、「イパネマの娘」、「マスカレード」「褐色のブルース」（映画「墓につばをかける」のテーマ曲）等12曲

質疑応答では、次のような質問が出され、丁寧に説明されていた。

- 複音ハーモニカで、ビブラートはどうして出すのか



吹上理事長より挨拶と講師紹介

たが多かったようで、持って来られた同氏のレッスン書、カラオケ付き楽譜本は全部売り切れとなっていた。

本日の講師は、徳永延生氏と同氏子息の徳永有生氏として会報上で案内されていたが、有生氏は健康上の理由で欠席となり、徳永延生氏一人での研修となった。したがって、二重奏は聞けないことになり、我々も残念であった。

- 「パリは燃えているか」のような曲の伴奏（カラオケ）は、どのようにして手に入れるのか
- リード楽器は、あえて意図してベンドしなくても、強く吹くと音程が下がり、軽く吹くと音程が上がるのではないのか
- スライド・レバーが、すぐ動かなくなるが、対処法は
- リードそのものが、つまることがあるが、原因は何か
- グロー奏法では、その音と同じ高さの音を喉で入れるのか 回答は、No であった。
- 音の小さなかたがおられるが、どのようにしたらいいか 回答は、マイクを使えでした。
（弱い、小さな音は、いくらマイクを使って大きくしても、弱い音が力強い音になる訳ではなく、やはり、マイク等に頼らずに、もともとで、ある程度の力強い音を出す必要があるのではないのか、と私は思いましたが。）

（弱い、小さな音は、いくらマイクを使って大きくしても、弱い音が力強い音になる訳ではなく、やはり、マイク等に頼らずに、もともとで、ある程度の力強い音を出す必要があるのではないのか、と私は思いましたが。）

- バス・クロマチックに、特別な吹き方があるのですか。

徳永延生さんの音の出し方に興味を示されたか

念であった。徳永延生氏も、演奏や話をしながら、一人でPAの調整や、伴奏をかけるためのパソコンの操作も、しなければならなかったし、予定していた曲目の変更をせざるを得なくなったりしたり等で、やりにくくなっていたことと思われた。

聞くとところによると、当連盟の研修会の会場として長いこと利用させていただいた「愛日会館」が、都合により、今回限りで使えなくなったとのこと。私も、この会場での多くの研修会に参加させていただいたので、一抹の寂しさを感じながら、感謝の気持ちを持って会場を出ました。



ハーモニカと私

木ノ山 洋子

この度、2022年度の総会（文書）におきまして会計部長という重責を引き継ぐことになりました。至らない事もたくさんあるかと思いますが、皆さんにご指導いただきながら頑張りたいと思います。

吹上理事長から会計部長へ就任のご相談を受けた当初は、辞退の理由とタイミングばかり考えていました。夢にまで出てきそうなほ

ど悩みました。しかしふと、悩むより前進してみよう、お役に立てるならば頑張ろうと決断をしました。

前任の柴田正之会計部長には長きにわたり連盟を支えていただき、感謝と御礼を申し上げますとともに、今後のご指導を宜しくお願い致します。

今後は会計部長としての責を担うと同時に、連盟の未来に明るい展望が開ける様な企画やアイデアを出して会員の皆さんに多くの行事に参加していただき、会員同士の交流を深めながら楽しい時間を過ごせる様な運営に力を注ぐことが大切だと思っています。

さて、ハーモニカと私の出会い。自分の老後に向けて何かを始めたいと思っていた時、NHK テレビの趣味悠々という番組を目にしました。たった1本のハーモニカでどんな曲でも簡単に吹ける…難しい楽器を始めるのは大変だけれど、ハーモニカなら少し練習すれば上手になるのではないか、という大きな勘違いから始



まりました。

そういえば亡き義父が使っていたハーモニカ（一度も演奏を聴くことは無かったのですが）があったな…と懐かしさも重なり、近くの十字屋長岡京センターに立ち寄りしました。そこで目にしたのは、ハーモニカ教室生徒募集の案内チラシ。“体験レッスン大歓迎”の文字に誘われ見学に参加。その時に講師をされていたのが、故新井善久先生でした。先生も生徒の皆さんも和やかで楽しそうに演奏している様子を見て、迷い無く十字屋教室への入会を決めました。当初は家庭の事情で休みがちでしたが、新井善久先生の「辞めたらあかん頑張って続けやー」の励ましの言葉に支えられて続ける事ができました。

その後ハーモニカズ・アバンドーネに加入、そしてあらいなお先生のクロマチックハーモニカの音色に感動し、五線譜もオタマジャクシも縁が無かったところから指導を受け始めました。数年前からは初心に帰り、複音ハーモニカ

も細々とですが吹上晴彦先生の指導を受けています。しかし思うように上達出来ず、練習不足を言い訳に。ハーモニカは奥深くとても難しい楽器だと日々痛感しています。

コロナ禍で地域ボランティアの演奏活動も出来ない現状ですが、所属している交通安全推進員の活動が毎年7月にあります。地域の幼稚園児を招き、警察署での“七夕のササ飾り”行事に参加しています（一昨年は中止）。短冊に願いを込め飾ったササ飾りの前で園児が歌う♪た

なばたさま♪にハーモニカで伴奏のお手伝いをしています。

私が今、ハーモニカを続け連盟の仕事に携われるのは新井善久先生との出会いから始まり、ハーモニカを愛する大切な仲間・先輩・先生方との出会いがあったからだと思っています。これからも人とのつながりを大切に、私流のハーモニカライフを楽しみたいと思っています。

団体会員の皆様へ（編集局より）

「教室音便り」の寄稿文及び練習曲の募集について

この度、ハーモニカ教室紹介欄をリニューアルして、会報誌面に教室紹介をするほか、団体会員の写真とアンサンブル練習曲の演奏を、連盟ホームページに仮想ステージを設け一般に公開します。会報でのタイトルを「教室音便り」と名付けました。団体会員チーム皆様の寄稿と演奏曲の応募を期待します。

「教室音便り」募集要項

掲載場所： 会報「教室音便り」誌面と連盟のホームページ

掲載内容： ①ホームページはハーモニカ演奏写真等と演奏音源の放映
②会報は教室の紹介、練習状況等の説明文

対象団体： 団体会員登録グループ及び団体会員による小人数グループとする

募集期間： 2022年7月1日～随時 下記事項を記載して応募ください

記載事項： 会員番号、グループ名、代表者名、連絡先、練習曲名等

受付窓口： メールの場合は kansai.harmonica@gmail.com「教室音便り」係へ
Fax の場合は 072-297-2308中崎利枝子（電話は :090-5658-4044）迄
受付後、編集局と掲載時期を打合せし、下記を準備して頂きます

会報用原稿： 教室の紹介文（A4サイズ1枚程度）

練習曲応募： 演奏曲は1チーム、1曲、4分以内

写真・演奏音源のデータは電子媒体での提供を基準とする
（提供方法はご相談に応じます）



☆☆ ハーモニカ カレンダー ☆☆

2022 年 6 月 30 日現在 関西ハーモニカ連盟 編集局



日 時	演奏会及び演奏者名 (敬称は略)	会場・お問い合わせ先
7月 3日(日) 10:30 ~ 17:00	H企画主催 梁木進ハーモニカ教室コンサート	新大阪ココプラザ 入場無料 【問】 梁木進 090-8655-6045
7月 3日(日) 13:30 ~ 16:00	アルトフレンズ主催 第3回アルトハーモニカミニコンサート	大津市伝統芸能会館(JR 大津京駅) 入場 無料 【問】 鐘ヶ江義行 077-594-1374
7月 10日(日) 14:00 ~	関西ハーモニカ連盟主催 第2回研修会(講師:水野隆元)	西宮市民会館一階会議室 有料 【問】 研修部 西本豪介 06-6785-7775
7月 16日(土)	徳永教室主催 徳永教室発表会	大阪市北区 ライブハウス E.S. アロー 【問】 徳永延生 06-6934-7266
7月 25日(月) 17:00 ~ 19:00	連盟常任理事会	大阪市北区 ふんふんさろん
8月 22日(月) 17:00 ~ 19:00	連盟常任理事会	大阪市北区 ふんふんさろん
9月 11日(日) 13:00 ~ 17:00	木原教室主催 第18回ハーモニカの集い	宇治市 ふりーすぺーす宇治日和 入場無料 【問】 木原淳 0774-23-6631
9月 24日(土)	日本ハーモニカ芸術協会主催 公認指導員合格者コンサート	日暮里ホール 当該ホームページを参照ください
9月 26日(月) 17:00 ~ 19:00	連盟常任理事会	大阪市北区 ふんふんさろん
10月 15日(土)・ 10月 16日(日)	関西ハーモニカ連盟主催 第32回関西ハーモニカ祭り	堺市民芸術文化ホール フェニーチェ堺 【問】 事業部 鐘ヶ江義行 077-594-1374
10月 24日(月) 17:00 ~ 19:00	連盟常任理事会	大阪市北区 ふんふんさろん
11月 20日(日)	吉村教室主催 第13回吉村教室発表会	堺市北野田 フェスティバルフラットホール 【問】 吉村則次 072-251-9398
11月 20日(日)	日本ハーモニカ芸術協会主催 複音ハーモニカコンクール個人・デュオ	カメリアホール(東京都江東区) 当該ホームページを参照ください
11月 27日(日)	関西ハーモニカ連盟主催 第3回研修会(講師:寺澤ひろみ)	川西市 みつなかホール文化サロン 有料 【問】 研修部 西本豪介 06-6785-7775
2023 年		
1月 29日(日)	全日本ハーモニカ連盟主催 第2回演懐ハーモニカコンクール	東京都荒川区 ホルンクウッド(サニ-ホール) 当該ホームページを参照ください

(注) 新型コロナウイルス感染対策のため入場制限や、延期や中止になる場合があります、主催者に確認してください。

関西ハーモニカ連盟ホームページもご覧ください <https://kansai-harmonica.org/>

梅田ハーモニカ教室第13回演奏発表会報告

第13回演奏発表会実行委員代表 西河勝男

去る2022年3月5日（土）京都府「宇治市文化センター」小ホールにて開催されました。

一昨年3月開催予定であった第12回演奏発表会は、新型コロナ禍により延期・中止を余儀なくされましたが、第13回こそは開催実現しようと準備を進めてきました。ところが昨年秋ごろから新種のオミクロン株が感染拡大し始め再び暗雲が垂れ込めてきました。その上12月中旬に梅田先生が緊急入院されダブルパンチをくらってしまいました。

演奏発表会まであと3か月弱、これから本格的に発表曲の練習に取り掛かる時期に差し掛かっていました。実行委員会では何とか開催できるようにと度々集まって知恵を出し合い準備を整えていましたところ、嬉しいことに2月下旬先生が無事退院されることになり、発表会にご出席いただく目途が立ちホッとしました。

発表会当日、朝早くから多くの方々がお越し下さり、梅田先生が最初に「この困難な状況で開催できることは大変うれしい」との開会のご挨拶で発表会が始まりました。

第1部、第2部と生き生きとした演奏が続き、このように会が盛り上がり「開催出来て本当に良かった!」と感じました。

午後からの第3部と第4部は長年師事されて

いる方々の出番で、演奏も舞台度胸も素晴らしく、「さすが上手いなあ、年季が入ってるう～」と演奏発表会の楽しさを実感させていただきました。

いよいよお待ちかねのゲスト演奏です。今回は関西ハーモニカ連盟理事で日本ハーモニカ芸術協会師範・竹内寿子先生がお越し下さいました。演奏曲目は「宵待草」と『城ヶ島の雨』による幻想曲、なるほどこれが師範の演奏、ハーモニカの生き生きした素晴らしい響きが会場一杯に広がり大変感銘を受けました。

続いて師である大師範・梅田恒弘先生の登壇です。演奏曲目は「トロイカ」と「夜霧に濡れて」。堂々たる素晴らしい演奏は会場をうならせ、アンコールに応じてお得意の歌謡曲メドレーを披露され拍手喝采でした。

今回は何かと困難に直面しましたが、先生の病床からの励まし、当日の役目を引き受けていただいた方々、多くの出演者、宇治市文化ホール関係者、そして何よりもこのコロナ禍下にも関わらず駆けつけて頂いた多くのお客さま、皆様のご協力のお蔭様で実現出来たことでした。本誌上をお借りして厚く感謝しお礼を申し上げます。



出演者 48 人勢ぞろい

第23回 「ハモニ館まつり」への想い

ハモニ館 吹上 晴彦

ようやく春らしくなってくる4月の第二日曜を毎年の開催日と恒例化してきた「ハモニ館まつり」ですが、2020年から新型コロナウイルスのかつてないパンデミック下、通常方法の開催ができず、2回に分けてあるいは外気の自然換気の取りやすい会場での開催などの方法をとりました。コロナウイルスは、動物界において何百年も前から存在しており、いま人間界で大騒ぎになりました。この状態が今後も続き0コロナ、終息のない限り、ウイズコロナを考慮しての行動しかない、ホール側もコロナ対策を考慮すれば通常使用可能、いつもの時間帯での開催となりました。

5月8日（日曜）新大阪ココプラザホールで3年ぶりに朝9時45分から夕刻6時半までの長時間発表会となり、オープニング「アメージング・グレイス」から始まりました。まず最初に中年というにはまだまだ年月のある若手男性の松原高寛さんが小林由美子先生のピアノ伴奏で「糸」を初ステージ演奏されました。

9番から11番がアンサンブル演奏、その後12番から25番まではソロ演奏でした。25番の島内眞知子さんは、一週間前にお母様を亡くされました。連絡を受けた日の夜に福岡まで車を走らせ、翌日に最後の看取りができたことを知りました。お母さんへの想いを込めてエントリ―されていた「宵待草」の演奏にこみ上げてくるものがありました。

全プログラムは89番までです。親の健康状態をはじめ、ご自身の不調などで当日欠席の方。出演できないがみなさんの演奏を聴きたい、録音が欲しいと入院されている方。当日体調不良で帰られた方もおられました。ご出演の皆様は、生老病死を乗り越えて、3年ぶりの今回ステージに立ちたいという気持ちを持つての演奏なのだと思いをめぐらせました。演奏がうまくでき

ず悔しい思いをした人（私も同様）、練習どおりできた人と様々でした。

友情出演で和谷優廣氏（京都の和谷三兄弟長兄、次男はハーモニカ奏者 和谷泰扶氏、三男が世界コンテスト連続1位の京都ハーモニカクワルテット1st 和谷篤樹氏）がクロマチックハーモニカで「マラゲーニヤ」を演奏。たのしいトークをはさみミニハーモニカを口の中に入れて手放して何曲も、ときには手拍子とりながらの演奏に会場が沸きました。

新たに亥年のトリオ（小林由美子・角野まゆみ・加納克芳）猪組が小林希久子先生編曲の「時の過ぎゆくままに」でデビューをしました。ソロ演奏丸山茂生さんの「無縁坂」、そのイントロの音色・響きは心揺るものでした。89番はヴェキアスのデュオ（小林希久子・岸元 彩）で小林希久子先生編曲の「アイノカタチ」で弱音の素晴らしい響きとさらにレベルアップした演奏は感動でした。

私自身2月中頃、大きな身体的故障があり完全な状況ではなくハーモニカ演奏ができるかどうか不安の中、ステージに立ちました。1曲目に奏法を入れずに2時間テレビドラマの挿入歌で演奏した「ここに幸あり」、2曲目にいまの自分の気持ちと重なる「どこにもやり場のない気持ち」と歌詞にある「惚れた女が死んだ夜は」を演奏しました。今回のステージには大きな感動があり、“ここに幸あり” でした。小林由美子先生のソロ演奏「花」のあとにデュオ・ユットラで練習不足ながら3曲演奏しました。

今回の演奏会では出演された多くの方がレベルアップされていると感じました。これらを聴き、私のハーモニカへの思いは「あきらめる」でした。ハーモニカ演奏を諦め捨てるのではなく、さらに精進して「明らかに極める」との想いを深めました。



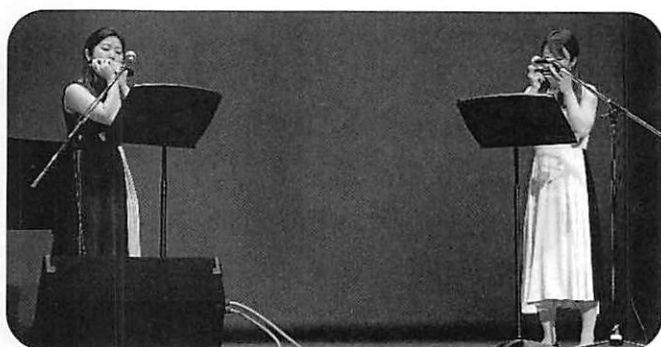
オープニング：ハモニ館・十字屋グループ



小林由美子先生



吹上晴彦(筆者)



ヴェキアス



松原高寛さん



島内眞知子さん



丸山茂生さん



熱演される和谷優廣氏



猪組



デュオ・ユットラ

日本ハーモニカ賞と長老荣誉賞を受賞して

柴田正之

この度はからずも、全日本ハーモニカ連盟より「日本ハーモニカ賞」、日本ハーモニカ芸術協会から「長老荣誉賞」とダブル受賞いたしました。表彰などには縁のない私にとって、まったく思いがけなくありがたく思っております。これはひとえに私を支援・バックアップしていただいた皆様のおかげと感謝の念にたえません。恩師村上浩一先生はじめ、関西ハーモニカ連盟、日本ハーモニカ芸術協会・関西支部連合会その他の方々に篤くお礼申し上げます。

ハーモニカとの付き合いはちょうど20年、音楽にはほとんど縁のなかった私が、このようになった経緯を振り返ってみたいと思います。

1. ハーモニカを始めたきっかけ

20年前、会社を定年退職する直前、定年後何かをと迷っていた時に、通りがかった楽器店の店頭でハーモニカをみかけました。

2. はまり込み

家で童謡・唱歌をプカプカふいていた。近所の方から「近頃お孫さんがよく来られていますね」といわれた。近くの公民館で「童謡・唱歌を吹く会」というのがあったので入会した。私がハーモニカを始めたことをきいた義理の兄（東京で間中先生の孫弟子だった）から、ハーモニカ関連の教材・CDをどさっと送ってきた。また「ソロをならった方がいいですよ」と言われ、朝日カルチャーの村上浩一先生のレッスンをうけることにした。これらがハーモニカにはまりこみだしたきっかけである。

ハーモニカはいい音を出してくれる。練習もしたし、講習会があれば貪欲に受講した。東京・嵐山の関東ハーモニカ連盟合宿研修会にも2008年第4回から数回行った。

3. 仲間

「垂水ハーモニカ友の会」に入った。きっかけはハーモニカ演奏会に聴きに行った帰りに飲



みに誘われたことによる。由緒ある「関西ハーモニカポップス合奏団」に入れていただいた時も飲み会が先だった。関西ハーモニカ連盟にも入会した。ハーモニカの楽しみは演奏はもちろんだが、そのあとの「反省会」が私にとっては欠かせない。

4. 先生方

いろんな先生方にお世話になった。怖いもの知らずで失礼なこともした。村上浩一先生には本当にお世話になっている。2012年に、先生の「米寿記念・村上浩一・ハーモニカ独奏曲集」のCDを、1000枚を超えて発行できたのはせめてもの恩返しと思っている。当初は200枚前後作成できればよし、赤字も仕方なしという想定だったが、各ハーモニカ教室の先生方の協力もえて販売が進んだ。楽譜も1000部をこえた。収支も黒字となりこの原資で先生の米寿祝賀会を盛大に催すこともできた。

5. 演奏会

色々な演奏会、ソロ・合奏に出させてもらった。思い出に残る演奏会がいくつかある。

2015年、関西ハーモニカポップス合奏団の

第40回定期演奏会。当合奏団が解散する最後の記念すべき演奏会であった。

ソロで思い出に残るのは「観客一人の演奏会」。クラス会で吹こうと習いたての「荒城の月」を会場付近の池の畔で練習していた。気がつくそばに初老の女性がいる。「お騒がせしてすみません」と謝ると、「近くの病院に入院している。今日はいい曲をきかせていただいて癒されました。ありがとうございました。」と言って戻っていった。

拙い演奏であったが、少なくとも一人の方から心から感動していただけた。ハーモニカを始めてよかったと思った。

6. 日本ハーモニカ芸術協会

芸術協会といえばやはり試験になる。楽典の試験を受けた。学習していたので自信はあった。試験後周りの人と話をしているとき、一つの間違いに気がついた。「98点で合格か」と思った。ところが試験結果は「82点で合格」。何とか合格できたものの、あとひとつふたつ間違っていたら……。自信過剰程怖いものはない。準師範試験。話したくない。当方の音楽性を先生方は理解してくれない。(すみません、当方の拙さを棚にあげた愚痴です)

7. 関西ハーモニカ連盟

①交流旅行

福井、松山、名古屋、岡山、宮崎 いずれも楽しい思い出ばかりである。

福井・東尋坊のサザエのつば焼き、松山のビール工場、宮崎の台風・・・

②団体会員制度

2012年よりリフォーメーション委員長をおおせつかり、団体会員制度の設立にかかわった。2014年の初年度には800人を超える団体会員の加入者があり、個人会員と合わせると会員数は1000人をこえた。今から思えば一番盛んな時だったのだろう。現在の会員数は約600名、コロナ禍とはいえ寂しすぎる。とはいっても妙案はない。

③会計部長

2014年から8年間会計部長をつとめた。苦労したのは、ハーモニカ祭りの台風による中止・返金2回。2015年、大阪中央公会堂でのコンサートの経理処理。大阪市からチャリティとして認定してもらうために提出した資料の多かったこと。

④2017年奈良・国民文化祭

「あつぎグランドハーモニカアンサンブル(約50名)」の皆様が目玉として出演していただいた。「あつぎ」に旅費等をできるだけ多く支払いたいと苦労した。

定年後20年、充実した第2の人生を送ることができたのは、ハーモニカと皆様のおかげです。ハーモニカと皆様に感謝。ハーモニカ万歳。

行って、見て、聞いて Vol.19

音楽の起源雑談(1)

ジャズは港町であり人種の坩堝であったニューオリンズの歓楽街で誕生した。

シャンソンの起源は古くは教会の伝道歌だそうだが、一般には中世の吟遊詩人が街角で歌ったのが流行の始まり。カンツォーネはイタリア民謡とされることも多いが、イタリア語「歌」は意図を持って作曲された歌謡曲であり、日本では人気のあるポピュラー曲も多い。

ダンス音楽のジャンルには、ワルツ、タンゴ、ポロネーズ、マズルカ、チャルダッシュ、ポルカ、コサック、ジェンカ(イェンツカ)、フラメンコ、等々民族の数だけ挙げられる。ギリシャ、インド、ネパール、ミャンマー、インドネシアなどの国々では宗教に根差した舞踊音楽が見られた。たいへん複雑で、楽しく踊ることからは程遠い。但し、インドのボリウッド映画音楽は大人気で今後新しい伝統を形成すると思われる。(岩本洋之)

日本ハーモニカ芸術協会「長老栄誉賞」を受賞して

新山ミツ子

この度は「長老栄誉賞」を受賞させて頂きありがとうございます。思いも寄らないことで驚き、お世話下さった方にお礼申し上げます。ハーモニカを始めて20年以上になります。その間、たくさんの先生方や仲間に出会い楽しい年月を過ごして参りました。

演奏旅行、親睦旅行、交流旅行等にも度々参加させてもらいました。伊豆、信州、黒部ダム、石川県、九州、四国、韓国釜山、それに関西各地と、時には森本恵夫先生、斎藤寿孝先生も参加されて、そのお話の中から多くの事を学ばせて頂きました。

また「関西ハーモニカポップス合奏団」では貴重な経験をしました。白鳥達夫先生の楽譜と指揮で1年に2回のコンサートで演奏しました。私はアルトホルンのパートを吹いていましたが、六重奏、七重奏の重なり合った音の一つのパートを担当するという事は、非常にやり甲斐のあることでした。団員の老齢化により合奏団

が解散になったのは本当に残念なことでした。閉幕の曲「ボギー大佐」のメロディが今も耳に残っています。

小アンサンブルを組むようになってからは、発表会やコンサート、老人会に呼ばれての演奏、そして目標を持ち集まっての練習はとても有意義なものでした。

傘寿を越えて最近足は痛くて遠くへは行けません、尼崎市内で何ヶ所かの教室を受け持ち、年に2回の合同発表会、市のイベントへの参加など「音楽大好き」「ハーモニカ大好き」と出来る範囲で活動が続けています。「ハーモニカ教室は高齢者のフレイル予防に役立つ」と尼崎市から補助金も戴きました。今、教室では佐藤秀廊先生の「毎日の練習」「独奏」「合奏」とレッスンを進めています。合奏には口笛とウクレレも合わせてハーモニカ人生を続けているところです。



ハーモニカ仲間にもまれて

ハーモニカ人生・傘寿と云う駅へ

高阪他美子



この度、ハーモニカ長老栄誉賞を頂戴しました。50歳後半で始めたハーモニカが今日まで続けられたのは、ひとえに諸先輩の暖かいご指導と皆様のおかげと感謝しております。

ハーモニカを始めたきっかけは平成7年阪神淡路震災（神戸在住）でした。

6400名余りの多くの命が失われ、大切に築き上げてきたものが、一瞬にして崩れて行ったのを目の当たりにした時を境に、私の人生観が一変しました。

喪失と焦燥感の中、ある日の西田幸司先生のハーモニカ教室、呼吸にそって流れ出る深く美しいハーモニカの音色に魅了されました。そして夢中になってしまうのに時間はかかりませんでした。仲間が増えると、村上浩一先生からソロ・アンサンプルの編曲を頂き、アンサンプルの楽しさを知ることができました。

思い出の中で強く残っている事は、厚木開催のハーモニカアジア大会に主婦6名が夜行バスで一週間の厚木旅行です。途中の一日は主婦業のために、神戸に帰り、また夜行バスで厚木への往復と、よくぞ、あんなエネルギーがあったものだ后感心しています。H14年に、初めて西日本ハーモニカコンテストにチャレンジし「ソロ部門」三位入賞しました。そのころから、アンサンプルの話が持ち上がり「ラストグリーン

カルテット」（高阪・松岡・横田・新居）を結成。しかしアンサンプルの難しさに気付き、かと言って投げだす事もできず、心を合わせる事さえ崩れかけた中、とにかく練習を重ね、H16年西日本コンテストにチャレンジし、小アンサンプル二位に入賞することができ、これは大きな収穫でした。

デュエットは松岡さんとの弥次喜多二人旅へと続き、アジア大会のあるシンガポール、マレーシア、台湾へと、もっと、もっとハーモニカを知りたい・聴きたいとの思いで参加し、小学生大アンサンプルのレベルの高さに大変驚きました。アジア大会での「ハイケンスのセレナーデ」は二人で出演ぎりぎりまで練習した思い出の曲です。

関西ハーモニカポップス合奏団ではホルンハーモニカを担当させていただき、大アンサンプルで沢山の曲を教えていただき楽しさを味わいました。長いハーモニカ人生には何度かハーモニカを続けることに迷いがありました。一つは、健康上の問題でした。ガン、心臓の病は克服出来て現在に至りますが、最大の危機は息子の嫁がガンで若くして幼子を二人残し逝ってしまったことです。それでも私を助けてくれたのはハーモニカでした。

音楽は人の心を癒し、時間をかけて立ち上がる「ちから」を与えてくれる事を今は確信しています。私の旅は傘寿と云う駅に到着、次の駅は何と言う名前前の駅にたどり着くのでしょうか！これからの若い世代の活躍を楽しみつつ出発しました。



日本ハーモニカ芸術協会 2022 年度グレード便り

大師範 おめでとうございます!!

日本ハーモニカ芸術協会の大師範認定を受けて

村上博昭

4月25日、日暮里サニーホールにて開催された日本ハーモニカ芸術協会総会にて、大師範認定書を授与されました。

私にとっての大師範は夢の世界のもので無縁のものと思っていました。現実、大師範の方は日本でもハーモニカ界にこの人ありのビッグネームの方々です。

47歳の時、宇佐美進先生から「ハーモニカ教室を開くから来ないか」と声を掛けられた時は、ただ老後に何をするか、「定年後、濡れ落ち葉にはなりたくないな」程度の感覚でした。

そして、仲間が準師範を取得し刺激を受け、1度不合格の後取得したのが5年後。師範挑戦は3度の不合格で諦めかけた時、岩崎先生から指導するから厚木に來いと電話を頂いた。岩崎

先生の机の横に座らされ「私の指導状況を見ながら勉強しろ」と「特別見聞受講」を半年続けた。そして斎藤寿孝先生や大矢博文先生、平井武先生等にも折に触れてのアドバイスを頂いた。

2008年師範に合格。ここまでは私も資格取得を目標に懸命な努力をしたと思います。しかし今回の大師範については、「エッツ本当に？」

直接指導いただいた宇佐美先生や岩崎先生そして関西ハーモニカ連盟の方々、延300人超の同好会メンバーなどの暖かいご支援のお陰であり感謝に堪えない気持ちです。そして47歳から始めても大師範に認定される楽しみのある協会では有難い。

ここまでの道程を振り返ってみる。

- ① 日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会会員の倍増。

2004年62名、2020年107名

- ② 関西ハーモニカ連盟団体会員制度導入に参画。

- ③ 準師範、グループ内より12名誕生。



認定授与式にて田邊会長より

- ・ 教室練習にグレードチャレンジコーナーを取り入れてレベルアップ
- ・ グレード資格取得のための特別講座・特別レッスンを実施

④ 日本ハーモニカ賞、ファミリーより3組誕生。

くらわんかカルテット、岩本洋之、青木鈴子

⑤ 日本ハーモニカ芸術協会本部役員としての献策。

地方展開、体質強化等

⑥ 関西支部連合会主催の研修会。

⑦ ハーモニカ界活性化のためのコンサート。

鉄人コンサート・遷都 1300 年コンサート・奈良国民文化祭

などが今、走馬灯のように蘇る。

今後も皆様のご期待に応えようと思っているが、コロナ禍で制約されることが多い。リモートでお役立ちできればと勉強中です。腹案としてあるのは “Zoom で 見て、聞いて、話して！”

今、数え年で 80 歳の傘寿。速い曲・難しい曲は若い人に任せて、楽しむハーモニカ演奏をしたいと思います。例えば、今週の明星スペシャル、君の名は劇場、明治～令和・星は何でも知っている等。ファミリー内にも師範になられた方が今回 2 名、さらに増加の機運を感じており共々頑張ろうと思います。

師範昇格おめでとうございます!!

師範に昇格して

高山美千代

音色が大好きで始めた複音ハーモニカですが、この度、師範という大変名誉な資格を頂き、今まで続けてきて本当に良かったと思っています。

初めてハーモニカを持ったのは中学生の時でした。楽器店もない田舎でしたので当然独学でした。今でもはっきり覚えています、その頃は C 調一本だけで、半音はどう出すのかわからず、口を小さくして一音の半分吹けば半音がでるかな?? など、今から思えば笑い話ですが、いろんなことを試していました。その頃、C# のハーモニカがあったかどうか分かりませんが、メロディを吹きながら半音の箇所はうなずいて飛ばして吹いていました。随分昔の話です。子育ての時期はハーモニカから遠ざかっていましたが、子供に手がかからなくなり、時間的に余裕ができた頃、ハーモニカを再開。この頃から奈良に住



んでいましたが、近くの公民館でハーモニカ同好会があることを知り、グループに加えていただきました。のちにこのクラブの4人のメンバーで、四重奏「ハミングバース・カルテット」を結成。とても楽しく、グループ練習に明け暮れていました。演奏依頼があれば喜んで何処へでも出かけて行きました。日本ハーモニカ芸術協会、関西ハーモニカ連盟の年2回の演奏会にも参加して、アンサンブルの楽しさを味わいました。

魔術師のようにハーモニカを3本、時には4本持って演奏される先生方の演奏を聴きに行く度に、ソロ曲の練習をしたいと思うようになり、佐藤秀廊先生の「ハーモニカ独奏曲集」を購入しました。後からCDが発売され、自動車での移動中よく聴きました。

「教室を持てばいい勉強になるよ。」と先生からの勧めがあり、2008年「奈良ウエルネスハーモニカ倶楽部」を開設。その経験がハーモニカとの結びつきを一層強くしてくれました。2011年に準師範をいただき、ハーモニカ大好きという気持ちはさらに強くなったように思います。いい先生方に巡り会えたことと、ずっと諦めずに挑戦し続けた事がこの度の師範昇格に繋がったものと思っています。お世話になった先生方、ありがとうございました。

師範認定をいただいて

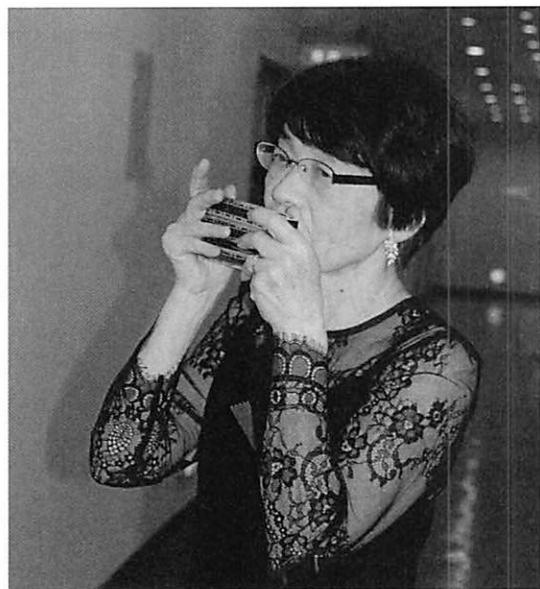
竹内寿子

4月25日、芸術協会総会で田邊会長より認定証書をいただき、嬉しくも身が引き締まる思いでした。多くの先生方や先輩仲間から温かい指導と応援をいただいてここまで来れたことは幸運です。

10年前のこと、グレード取得の挑戦を始めたばかりの頃「荒城の月幻想的変奏曲」についての研修会があり参加しました。その時の講師甲賀先生の言葉が今も胸に刺さっています。演奏するにあたり「一音たりとも未検討の音があってはならない」と言われたのです。

曲を構成する一音一音はどんな役割をもってどこへ向かおうとしているのか組み立てを理解し、どのように奏すれば曲想が聴く人に伝わるのか、編曲に込められた様々な奏法は何のためにあるのか、どう紡ぎだすべきか等々の講義でした。お茶の間のハーモニカ芸ではなく、ハーモニカ音楽のことを先生は語られたと思います。感銘を受けた私は、能力を超えた大きな課題ながら追求するぞと、この時決めたはずでした。ところが今も胸に刺さったままなのは、正直できていないからなのです。

一方、これまで色々な方々の演奏を聴いてどんなに元気・勇気・刺激をもらったことでしょう。しんどい時も落ち込んだ時も身近なハーモニカ演奏に力をもらい、背中を押されて立ち上ってきました。お茶の間ハーモニカ、ボランティア演奏にも大切な役割があるわけです。これからは私もその一翼を担わなくてはなりません。認定を機に、ハーモニカの楽しさと同時に奥深さを発信する一人になりたいと気持ちを新たにしています。



準師範合格おめでとうございます!!

準師範検定に合格して

中道忠志

7年前から地元ハーモニカクラブのお世話になり、半年後指導者の先生が勇退されまして、後、私にクラブの指導を任されました。

指導方法等を学ぶために、梁木先生に師事しました。その後、梁木先生から吹上先生を紹介して頂き、現在に至っております。

毎日、懸命に練習に励みだしたのは、吹上先生から「指導しているなら、準師範を取得しておいた方が良いですよ」と言われた頃からです。4年ぐらい前になります。

合格しましたこと、嬉しくもあり、少し、ホッとしてもいます。同時に、今まで指導して下さいました諸先生方に深く感謝申し上げます。

今後、より良い演奏が出来るよう励んで参ります。



全ての幸運に感謝

喜多啓子

育児が一段落した頃、音楽仲間と歌声喫茶を始めました。お客様に楽しく歌っていただけるよう楽器で盛り上げたいと思い、ハーモニカを習うことにしました。

複音ハーモニカの音色に魅せられ15年。習い始めて10年目頃、私にハーモニカを教えて欲しいという方が現れました。しかし、私には資格も自信もありません。きちんと教えて差し上げられるように準師範の資格取得を目指しました。

今回3回目の受験。運がいいことに課題曲が初挑戦の時の随意曲。コロナ蔓延で外出することも少なくなり練習に打ち込める時間ができました。

そして何より合格できたのは、普段から熱心にご指導くださり励ましてくださった大師範梅田恒弘先生や教室の皆様の応援のおかげだと感謝の気持ちで一杯です。



斎藤壽孝さんお元気

吉村則次



2022/4/24 全日本ハーモニカ連盟フォーラムにて
「斎藤壽孝の足跡と功績」の対談

左 全日本ハーモニカ連盟会長の眞野泰治氏
右 同前理事長の斎藤壽孝氏(当連盟特別顧問)

コロナのため2年間プランクがあった全日本ハーモニカ連盟のフォーラム及び日本ハーモニカ芸術協会の総会が、今年は開催されるということで、2022年24~25日、東京へ行って来ました。

来年以降は開催されるという確約もなく、更に、全日本ハーモニカ連盟の会長の眞野泰治さんと、当連盟の特別顧問でもある、全日本ハーモニカ連盟の前理事長の斎藤壽孝さんに会っておきたいという思いがあり、多少の危険が残っていたものの、1泊2日で行って来ました。各地からのハーモニカ界の知り合いと久しぶりに会えたのもよかったと思いました。

全日本ハーモニカ連盟のフォーラムでは、会長の眞野泰治さんと前理事長の斎藤壽孝さんの「斎藤壽孝氏の足跡と功績」というテーマでの対談がありました。当連盟の特別顧問でもある斎藤壽孝さんは、近年体調を崩されたとのことで、大阪に顔を出されることなく、心配をしておりましたが、お元気で、対談に応じられておられました。長年にわたる斎藤壽孝さんのハーモニカ及び日本のハーモニカ界への貢献について眞野泰治さんから報告がありました。

全日本ハーモニカ連盟の活動では、今年から8月2日を「ハーモニカの日」と定められたようで、これが一番のトピックだったかなと思います。当連盟事業部でも、これをとらえて、なにか記念行事を考えられているようです。8月2日を「ハーモニカの日」に制定した理由は、8月のハ、MONTHのモ、2日のニカとのことです。

翌日の日本ハーモニカ芸術協会総会では、午前中には当連盟常任顧問であり日本ハーモニカ芸術協会大師範でもある梅田恒弘氏による「佐藤秀廊先生のハーモニカ理念」のお話がありました。演台がアクリル板で遮られていたこと等で聞き取りにくく、少しの不満が残りました。

両方の会とも、コロナの影響で出席者が少なく、質疑応答もなく、従来のような活気がなかった。当関西からの出席者は、全日本ハーモニカ連盟のフォーラムには写真の4名に加え、宇佐美進さんと私の6名、翌日の日本ハーモニカ芸術協会総会では、村上博昭さん高山美千代さん竹内寿子さん喜多啓子さんの4人が加わっただけという、淋しさであった。こういう全国からの愛好者が集まる機会をとらえて、各地の現状の報告を聞いて、これからの日本のハーモニカをどうして行くのかについての意見交換が、あってもいいのではないかと思います。



2022/4/25 日本ハーモニカ芸術協会研修会で「佐藤秀郎先生のハーモニカ理念」を語る当連盟常任顧問の梅田恒弘さん



2022/4/24
全日本ハーモニカ連盟フォーラムに
出席した当連盟の伊藤加奈さん、
梁木進さん、源馬英人さん、梅田恒弘さん

コロナ旋風下 喫茶店でハーモニカ演奏

寺村安雄



コロナ感染第6波オミクロン蔓延の最中、最寄りの文化喫茶（結）で2月よりハーモニカ演奏しています。大阪府堺市南区新檜尾台センター街の一角にあり地域の憩いの場所であり文化交流の要ともなっている。普段は絵画や焼き物、陶器等の展示、落語会の催し、週1回1時間、ピアノやフルートなどの演奏に合わせて歌う歌声喫茶風の気楽な演奏会が続けられてきました。私も妻と同伴でピアノに合わせてよく歌ったものです。今年に入り女性ピアニスト欠員のため、店主からの要請で皆さんが唄われる伴奏をハーモニカで演奏することになりました。これまでの複音無伴奏ソロ演奏スタイルから皆さんの歌声に合わせて演奏する初めての経験となりました。初回2月9日、場所柄「一杯のコーヒから」「小さな喫茶店」をオープニング曲とし、他は木枯らし吹きすさぶ中なので「早春賦」そしてロシアとウクライナの紛争が起こらないことを願って反戦歌として「ダニーボーイ」「禁じられた遊び」春を待ち望んで「春の唄」「うれしいひな祭」を唄って貰い、無伴奏ソロで「ラ・クンパルシータ」「バルセンチーノ」「パリの空の下」等を聞いて貰った。二回目は3月

30日、三回目は4月14日にハーモニカ演奏をした。その間ロシアのウクライナ侵攻と惨状が報じられていたので、この侵攻が終わることを願いながら「コンドルは飛んで行く」等を唄って貰っている。毎回10曲程、A3用紙に歌詞入れて配っている。私は、浪曲、ラップ以外はあらゆる音楽が好きで子守歌から童謡唱歌、演歌、ポップスと選曲に困らないのが幸いして多種多様な曲をハーモニカで楽しんでいただければと思っています。反戦歌を吹きながらいつも頭を過ぎるのは何故地球上に戦争が次々起こるのかと言う

疑問である。5歳の時大阪市内で空襲に会い恐怖のあまり神経衰弱（うつ病）になりました。それ以来戦争と平和について愚直にも考えてきました。私の恐怖体験とウクライナの現在の状況は全く同じである。歴史の逆行です。何と愚かしいことが平然と続けられているのか、政治権力者の思考・信条等は一般市民、庶民と異なるように思えてならない。当事国の紛争は戦争で解決するのではなく第3の機関の調停、裁定が必要である。国連がその機能を発揮できていないのが最大の要因である。あの自然豊かで軍隊を持たない平和の象徴の国、南米、コスタリカも隣国から侵攻を受けた時、国連に訴えて裁定が下されて今日まで平和が継続されている。世界の政治権力者はこのような思考は現実世界ではマッチしない、理想主義者だと片隅に追いやってしまう。私達は民主主義国家に住んでいる、市民の総意が未来の社会が作られる。アウシュビッツで15歳で非業の死を遂げたアンネ・フランクが「大人一人一人が戦争は嫌いだと言えば戦争は無くなる」と書き遺している。現代はパソコン、スマホ、そしてSNS時代です。それぞれの思いを発信できます。

バスクロマチックが難しい理由とハマる理由

北村サユリ

今回は、スズキ楽器から発売されているバスクロマチックハーモニカ「シリウス バスクロマチックハーモニカ (S-48B)」について記したいと思います。

購入した主な目的は、オリジナル楽曲の録音でバスパートを演奏するためです。

思っていたよりも難しいと感じた点もあるのですが、演奏してみて感じたことをまとめてみようと思います。

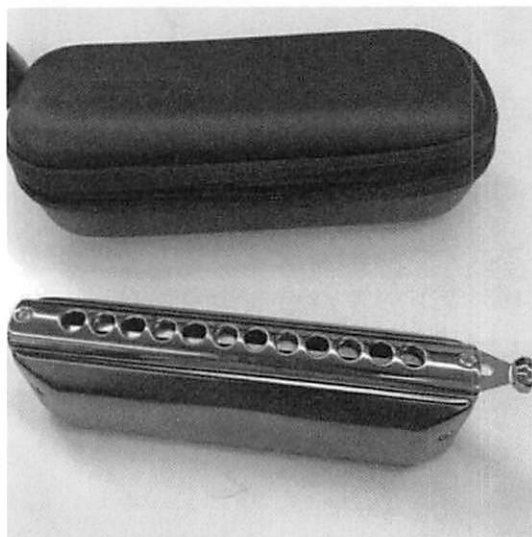
難しく感じた点

- ・ 配列は通常のクロマチックハーモニカと同じで、音の高さ（オクターブ）が違うだけなのですが、これまで、音の高さに対して相対的ではなく絶対的な位置関係で捉えていたようで、オクターブ違うだけなのですが混乱します（穴番号は同じでも、通常のものより2オクターブ低くなります）。

- ・ 低音の音に耳が慣れていないため、最初のうちは音が少し取りにくいと感じました。

- ・ 私の場合、ベースラインを演奏するために用いているので、慣れない音の動きに吹きにくさを感じました。

譜読みは昔に比べるとかなり早くなりましたが、それはこれまで出会ってきた数多くのメロディの蓄積によって可能になっているのだということを実感しました。低音パート特有の音の動きに、最初のうちは慣れることができませんでした。



ハマった点

- ・ 手首の不調でベース（ベースギター）を含む弦楽器を諦めた身としては、まさかクロマチックハーモニカと同じ配列でベースラインの演奏ができるとは思ってもいなかったのでもって感激でした！テーマのメロディをイメージしながらベースラインを演奏する楽しさにハマっています。

- ・ 通常の16穴のハーモニカの左から4穴が、バスクロマチックの5～8に相当すると思うのですが、バスクロマチックの方がレスポンスがよいように思うので、演奏していてとても心地良いです。そして、12穴ということでマイク乗りの良さも期待できるかと思います。

- ・ 打ち込み音源を使ったり、一般的なバスハーモニカを用いなくても、クロマチックハーモニカだけでバスパートも含めたハーモニカアンサンブルの演奏が可能になることはとても魅力です。

その他、感じたことや注意点など

- ・ 通常の1・2、1・6穴などと比べ、同じ穴番号でもリードへのアプローチ面にかなり違いを感じたのですが、これは案外すぐに慣れることができたのではないかと思います。もう少し苦労するかと思っていたので意外でした。
- ・ 仕様に「超ロングストローク」と記されているように、通常のロングストローク（クロス配列）よりもスライドレバーが少し長いです（スライドレバーを押すときに深く押し込む必要がある）。
ただ、この楽器の性格上、超絶技巧の曲を演奏することは滅多にないと思われるので、今のところほとんど気にはなりません。
- ・ スズキ楽器製の特徴なのかもしれませんが、普段HOHNER社製の楽器を使われている方には、上げ身が若干低めと感じられるかもしれません（吹き吸いしたときに、重たいというか、詰まると感じるかも）。私も元はHOHNERユーザなので、通常のシリウスやファビュラスも少し上げ身の調整をしています。バスクロマチックも調整をしました。
※上級者向けです。下手をするとスッカスカのハーモニカになってしまい上達の妨げになりかねないので、上級者以外の方は信頼できる講師や専門家に依頼してください。
- ・ 通常の1・6穴の低音域を上手く鳴らすことができない方は要注意かも、と個人的には感じました。前述の通りバスクロマチックの方が同じ音の高さでも少し鳴らしやすいと思うのですが、場合によっては正しいピッチで鳴らすことができない場合も考えられるので、できれば通常のクロマチックハーモニカでしっかりリードへのアプローチを習得してから購入された方がよいかも？！と思います。
- ・ 低音域は、顎を上手く使うとある程度楽に鳴らすことができると思うのですが、その方法ですとかなり顎に負担がかかるように私は感じたので、特に顔の小さな女性などは十分注意された方がよいように思います。私も、練習の時は顎を極力脱力させて、その分体幹をしっかり使うように注意して練習しています。

まだまだたくさんの時間、バスクロマチックと向き合っていく必要性はあるのですが、現段階で感じたことをまとめてみました。

なお、1～4番あたりの同じ穴番号を連続して吹き吸いしたときに起こる異音については、メーカーの商品ページで紹介されているので割愛します。

⇒<https://www.suzuki-music.co.jp/products/13197/>

上記は全て個人の感想ですので、購入を検討される方は試奏をされるか、信頼できる講師や愛好家仲間などの意見も聞いた上で購入されることをお勧めします。

少しでも参考にしていただければ、幸いです。



れんめいひろばでは、読者の皆様からのハーモニカに関する「お役立ち情報」の提供や「教えて欲しい事」や「トピックス」等の投稿を歓迎します。☆新たに「つぶやき」コーナーを設けます。日頃考えていること、皆さんに語りかけたい事などを簡潔にまとめてご寄稿下さい。☆投稿者氏名と希望するタイトルを付けてワード文書をEメールに添付して編集室へお送りください。但し原稿内容やページ数の都合で全て掲載されるとは限りません。

◆堺市生涯学習フェスティバルに参加して来ました（吉村則次）

2022年5月21日（土）、フェニーチェ堺小ホールで開催された、堺市生涯学習交流サロンの第19回スプリング・フェスティバルに、堺ハーモニカアンサンブルが参加しました。

コロナのため2年連続で延期、今年は各種の制限を設けながら、やっと実施されました。

観客は出演団体を經由して氏名と連絡番号を事前に届け出る、事前申し込みなしに当日来ても入れない、出演者は、自分の出演が終わった後でも客席に入ってはならない、分刻みの行動スケジュール等という、コロナに関しての各種の制限のため、観客は客席定員の10分の1ぐらいで、やや拍子抜けでした。

しかし、ハーモニカを知ってもらうため、メンバー14人、笑顔をもって、次の曲を15分にわたり、少ない観客の前で演奏して来ました。

徳永延生作曲「浜名湖周航の歌」、
ジョニーマーサー作曲「ドリーム」、
小林亜星作曲「この木なんの木」、
チャイコフスキー作曲「イタリア奇想曲」。

出演団体は、ダンス（フラダンス、ベリーダンス、キッズダンス）が多く、あとギター、リコーダー、新舞踊、コーラス等で、ハーモニカは、我々堺ハーモニカアンサンブルのみで、複音ハーモニカも入ってほしいと思いました。（従来は参加していた様子）。



堺ハーモニカアンサンブル

◆堺自由の泉大のハーモニカコース 52 名で今年スタート（吉村則次）

堺市の財政で毎年開催されている堺自由の泉大学、受講料は若干の自己負担を除き無料、楽器・教材等の実費のみ受講者の自己負担。ただし継続コースについては、講師料は全額受講者負担。教室は、堺市が所有する堺市男女共同参画センターという建物。

そのクロマチック・ハーモニカ・コース、昨年2021年は、予算の削減及びコロナ禍のために新規募集が見送られましたが、今年は市民全戸配布の「広報さかい」やパンフレット等により募集され、新規のかた8名、及び従来からの継続のかた44名、合計52名で、6月14日から新学期を開始することになった。講師は、当連盟理事の服部恵美子と私です。受講生は、堺市がお金を出し開催していることから、堺市の住民及び通勤通学者に限られています。毎年開講式、修了式、修了証書の授与等が開催され、ボランティア活動等の義務、社会貢献等の義務があります。

当連盟では名簿を公開していますが、本人の申し出があれば個人情報(住所・電話番号等)を非公開に出来ることが、2004.7.12の常任理事会で決議されました。また、2014.8.28常任理事会で、会員異動のお知らせの住所表示は市区名までにすると決めました。会報228号(2022年4月号)でお知らせ以降の会員異動は、次の通りです。（敬称略）

（個人会員入会）

通番	会員番号	氏 名	〒	住 所	受付日
1	743	南 貞樹	非公開		2022.03.14
2	744	松田恵子	883-	西宮市	2022.05.15

（2022年度：団体会員登録）

通番	団体番号	団 体 名	代 表 者	会員数	受付日
1	81	ココプラザ公開レッスン教室	小野 浩子	15→17	2022.03.19
		合 計		372	2022.03.19

（個人退会）

通番	個人番号	氏 名	理 由	受付日
1	711	矢田 和義	年会費未納	2022.03.04

2022.05.15現在の個人・地域外個人・準・賛助・特別の合計207名、団体会員は372名(37団体)です。

お願い；個人会員の入会・退会、団体会員の入会、住所・住居表示・電話番号・市外局番等
名簿記載事項の変更は必ず組織部へお知らせ下さい。

編集後記

■国家間の紛争や新型病原菌の感染が世界中を襲い、人間が平常心を失うのではないかと、の恐怖さえ覚える今日この頃です。日本は人口が減り、GDPが大きく減少、外国に対する影響力も低下、明るい未来を描くのが容易ではありません。ハーモニカ業界も全国的に会員減少に悩んでいます。高齢化はもちろんのこと、感染症蔓延による自粛のまま活動を断念した方もたくさんおられます。利己主義では楽しい人生を過ごせません。若い仲間を一人でも多く増やすために何かの行動をおこすことが活力ある毎日をもたらすものと信じています。（岩本洋之）

次号
締切日

次号 第230号（2022年10月号）

原稿締切りは 8月19日（金）、会報編集室必着でお願いいたします。

同封物締切りは 9月12日（月） 発行は9月下旬の予定ですが
諸事情により変動する場合があります

関西ハーモニカ連盟 会 報 第229号 （2022年7月号）

発行人 吹上 晴彦

編集人 もり・けん

発行所 関西ハーモニカ連盟会報編集室

〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町 6-12 西栄ビル 2F FAX 06-6353-1393

e-mail: kansai.harmonica@gmail.com

公式ホームページ: <https://kansai-harmonica.org/>

印刷・製本 株式会社カード & メディア



ドレミちゃん
© 関西ハーモニカ連盟 2011



KANSAI Harmonica ASSOCIATION